



みずほの丘の希望

令和7年10月01日
第9号
生徒数/393名
文責/堀川博基

〒354-0018 富士見市西みずほ台3-14-6 TEL/049-252-4145 FAX/049-255-0233

なぜ、勉強しなきゃいけないのですか…?

それは…もっと Well-being に生きるためです…!

令和7年度 埼玉県学力・学習状況調査速報

R7年度 県学調		1 学年			2 学年				3 学年			
		県	市	西	県	市	西		県	市	西	
国語	正答率%	62.5	61.5	59.4	54.6	53.4	51.8	前年比伸	57.0	56.8	57.9	前年比伸
	学力レベル	8C-22	7A-21	7A-21	8C-22	8C-22	7A-21	1	8A-24	8A-24	9C-25	3
数学	正答率%	52.0	49.4	51.1	51.5	51.5	49.6	前年比伸	56.7	58.8	65.6	前年比伸
	学力レベル	6A-18	6B-17	6A-18	7A-21	7A-21	7B-20	4	8B-23	8B-23	9C-25	2
英語	正答率%	■県学調は、4~5月に実施されますので、主に昨年度の生徒の学びや気持ちが反映されます。			60.2	60.5	62.8		51.5	52.0	56.6	前年比伸
	学力レベル				9C-25	9C-25	9B-26		10C-28	10C-28	10A-30	3

■「平均の少し下位(R6)」から、「平均の少し上位(R7)」へ躍進!?	学力を伸ばした生徒の割合(%)	国語	64.5	65.9	66.9	74.5	75.4	77.1
		数学	84.6	90.9	92.7	63.8	64.3	61.0
		英語				81.5	79.8	80.5

県学調/正答率に焦点を当てると…? → 3年/着実に定着! 2年/期待の光明が… 1年/伸び代が見えた…

■西中生の努力の歩みが見えてきた結果です…

埼玉県学力・学習状況調査は「生徒の学力や学習状況の実態把握」により、生徒一人一人の「学力の伸び」に焦点を当て、個人の特性や成長を測り、教育施策や指導法の改善につなげるものだ。したがって学校全体の数字や傾向のみに重きを置くものではない…。しかし学校は総合的な学びの場である。学校経営方針、指導方法、学校行事等の要素が1コマの授業に影響し、生徒の成長に反映されるのは当然だ。現在、全職員で調査結果を分析中であるが、個票については9月上旬に全生徒へ返却した。ご家庭においてお子様の学びの状況を確認してほしい。ここでは概要とはなるが、西中生全体の学習の傾向や学びへの姿勢についてお知らせする。

■まずは絶対的な正答率である。各学年3教科(1年は2教科)で結果が報告されている。県もしくは市の平均値を超えているのは【3年/国・数・英】【2年/英】【1年/数】の5つだ。●3年生は1年次からすべての平均値が県・市を上回っており、小学校や家庭での学びへの基盤が整っていた上に、中学教員の指導がうまく機能したと言える。特に数学の8.9ポイントオーバー(県比)は、なかなか見られる数字ではない。下表の『学力を伸ばした生徒の割合』では、国語で77.1%、英語で80.5%の生徒が伸びを示している。学習内容が難しくなる2・3年においてこれだけ生徒が成長したことは3年生が着実に努力した成果だ。●2年生は英語が県・市を2ポイント以上オーバーした。小学校外国語活動での興味・関心を中学教科担当が引き上げてくれた証でもある。数学では正答率県・市超えには及ばないものの、「学力レベル」が前年比で4段階も伸び、「伸ばした生徒の割合」が92.7%を示した(…ただ県の伸びは5段階なので…もっと伸びても…?)。この勢いを2・3年の学習につなげてほしい。国語については1段階の伸びではあったものの(県・市も1段階)…県・市を超えた66.9%の生徒が学力を伸ばしている。全県及び市の伸びが1段階に留まったという事であれば、CBTへの慣れも要因として考えられなくもない。…学力については、少し光明が差し込んできた2年生のようだ…。●1年生は数学において県と並ぶ「学力レベル」だ。値としては決して高いわけではないが、県平均並みなのでマイナスからのスタートではない。国語についても県・市に届かないものの、「7A-21」という学習レベルは例年の西中平均レベルだ。ご家庭や小学校で播種したものを将来に結実できるよう、大きく成長させていく。伸び代が見えた1年生だ。

■続いて教科の学習内容の課題である(よい点もたくさんあるが、取って課題を焦点化する)。各教科、学年で特徴的な傾向が見られる。●国語では、▼1年生において国語の基本である、【話すこと・聞くこと・書くこと】【読むこと】が苦手なようだ。具体的には「作文の推敲」「物語における登場人物や筆者の心理・心情の理解」のように、人の心を考えたり表現したりすることが不得手のようだ。また、1年生は無回答率が高いことも危惧される。▼2年生は【情報の扱い方】を苦手としている。特に「慣用句の意味を考え適切に使う」ところは、正答率12%、無回答3.2%という状況だ。▼3年生はコンスタントに平均を上回っているが、取って不得手を挙げるとすれば【読むこと】となる。例えば「複数の情報を整理して、文章に整える」等の正答率がわるい。文章を読み解くことは国語の基本だ。受験前までには克服してほしい。●数学の課題は1・2年ではほぼ同様の単元が表面化している。【図形】と【データの活用】だ。▼1年生の図形は「縮図・拡大図」、データでは「中央値とデータの読み取り」ができていない。▼2年生の図形は「回転移動の角度」、データでは「累積相対度数」がまったくもってお手上げ状態だ。▼3年生はすべての領域において平均を上回っていたが、「目的に応じて式を変形したり、理由を説明する」、いわゆる応用系の問題が苦手なようだ。●英語においては2・3年共に【話すこと(発表・やり取り)】で、「日常会話に関する話題について聞いたり、読んだり、考えたり、話すこと」が正答率10~20%程度である。英語の授業では、ほぼ日本語を使わないように指導しているが…日常英会話等の課題をどのように克服していくか、現在その方策を検討中である。今後この結果も踏まえ全国学力学習状況調査(3年)の分析と取組を示すので、各家庭でもご協力をお願いしたい。

■県学調の特徴として学習への取組や教科への気持ち、日常生活の振り返り、非認知能力の定着等を含めた約80問程度の質問調査がある。この結果と学力調査をクロス集計し、学力向上に向けてのきっかけを掴むことができる。私にとっては学力調査以上に心配事が多くある質問調査でもある。主観ではあるが、次の表を参考に質問の一部(取って課題項目を取り上げる)と西中生の学びへの特徴を分析し、学力向上へのヒントを考察したい。まずは、①の勉強する理由(学びの意義の理解)である。理想的・哲学的な学びの意義まで理解する必要はないが、「高校・大学入試のため」「将来に向けて」等、必然的な勉強の理由を自分なりに持つ必要はある。「勉強をする理由」はその先の

県学調「学力レベル」とは?

■調査対象の小4~中3に対し、測定できる範囲を一定間隔に分割したもの。1~12までのレベルが存在し、ひとつのレベルを更に3つ(A・B・C)に分割している。「1C-1」~「12A-36」の計36段階の学力レベルが存在し、県・市との比較による「各生徒の現状(個票)」、前年度との比較による「生徒の伸びや成長」を見届ける参考となる。

■表中の「前年比伸」はこのレベルが前年度よりどれだけ積み上げられたのかを示す。

県学調の実施状況

■今年度から県学調はタブレットを活用したCBT(Computer Based Testing)検査となった。従って昨年度とは本質的な受験方法が変わっている。そのことから様々な環境による情報リテラシーの個人差、要領、慣れ…。そして、学校における接続環境(接続のストレス)等が多少の影響を与えている可能性も私たちは考えている。



■CBTによる県学調の様子。スムーズな接続ができるよう、会議室、少人数指導室等を使用して、少人数受験で対応したが…。

	質問内容	1 学年			2 学年			3 学年		
		県	市	西	県	市	西	県	市	西
学習の価値	①あなたが勉強する理由／わからない	7.5	8.7	12.4	8.2	8.0	8.0	7.0	8.9	9.2
	②授業の内容が難しい時は、あきらめる／あきらめる	19.3	17.5	20.2	24.3	23.6	28.8	27.1	25.4	21.7
	③授業で教えてもらった基本的なことは理解できている／理解した	82.7	78.9	69.8	76.0	73.7	70.4	76.5	75.2	67.5
	④難しいことでも失敗を恐れず挑戦する／挑戦する	72.6	67.6	73.7	68.9	66.5	64.0	66.9	66.0	57.5
	⑤5教科(国社数理英)でどの教科が好きですか(複数回答可)／無回答	7.8	10.8	14.7	7.0	9.7	8.8	7.1	7.9	13.3
家庭学習時間	⑥平日の家庭学習(一人で勉強…塾等を含めない)／まったくやらない	20.8	26.7	28.7	31.3	31.4	36.8	31.7	30.2	46.7
	⑦休日の学習時間(塾等も含む)／①4時間以上	3.9	2.8	0.8	4.3	3.0	4.0	8.4	7.5	5.8
	②3～4時間未満	6.7	5.3	3.9	7.5	8.3	8.8	11.8	9.5	5.0
	③2～3時間未満	17.1	14.7	14.0	18.7	20.2	16.8	22.7	22.2	16.7
	④1～2時間未満	35.4	37.2	45.0	31.1	31.5	36.8	26.3	27.7	30.8
	⑤1時間未満	27.5	29.7	24.8	24.7	23.6	23.2	18.3	20.5	25.0
	⑥まったくやらない	8.7	9.6	10.1	13.1	12.8	10.4	11.8	11.9	15.8
	⑧再掲/休日の学習時間(塾等も含む)／④⑤⑥の合計(2時間未満～やらない)	71.6	76.5	79.9	68.9	67.9	70.4	56.4	60.1	71.6
日常生活	⑨進んであいさつができますか／できる	88.1	86.2	89.9	88.1	88.1	86.4	87.6	87.6	86.7
	⑩学校での生活は楽しいですか／楽しい	93.1	91.9	95.3	94.0	93.1	96.0	92.8	92.3	85.8
	⑪学校生活に対してやる気があったか／やる気満々	87.5	86.7	86.9	85.8	82.9	91.2	84.5	83.4	73.3
	⑫学級は落ち着いて勉強する雰囲気があったか／落ち着いていた	72.7	70.6	76.0	70.2	64.9	60.8	76.6	76.7	90.0
	⑬安心して学校生活を送ることができた／安心して送れた	90.1	86.3	89.1	90.7	87.4	93.6	90.0	85.9	83.3

令和7年度11月行事予定

日	曜	活動内容等
1	土	土曜授業(学校公開/午前授業、給食×)
2	日	
3	月	文化の日
4	火	全校三面談 合唱優秀クラス小披露
5	水	3年受検写真撮影 部×
6	木	
7	金	振替休日(11/1 土曜授業分)
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	市内音楽会
12	水	学年集会 中央委員会 部×
13	木	2年保護者会(修旅) 諸活動停止
14	金	県民の日
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	登校指導 学年・学級の日
20	木	期末試験①
21	金	期末試験② 人権集会 表彰集会
22	土	
23	日	勤労感謝の日
24	月	振替休日
25	火	
26	水	学校集会 専門委員会 部×
27	木	
28	金	入間地区特支教育研究発表会 防パト
29	土	
30	日	

目標となる。②④学びへの軌道がこんなにも薄いのはとても気になる。やはり根気強く学ばせることは必要であろう。②において3年生が県・市よりもあきらめず努力している点は、学習結果として明確になっていると判断できる。③授業理解の数値が全学年とも低いことはとても心配だ。各職員とも「ICT活用」「主体的・対話的で深い学び」等の授業の工夫に力を注いでいるが、生徒に届かない実態があれば、更に丁寧な指導を展開し、「わからないままにしない」工夫が必要だ。⑤教科に対する好き、嫌いの質問だ。複数回答可にもかかわらず「好きな教科はない」という意味にも捉えられる「無回答」の割合が多い。理想としては好きな教科を広げてもらい学びへのモチベーションを高めてほしい。「学習の価値」全体を見ると「勉強が嫌い⇒わからない⇒あきらめる(挑戦しない)⇒勉強がめんどくさい⇒嫌い⇒わからない」というような負のスパイラルを感じてしまうのは私だけであろうか…。家庭学習時間については、西中の伝統的課題である。⑥平日の家庭学習については「やらないこと」が当たり前のようにになっている。タブレットの活用や宿題等の方法を再考しなくてはならない(課題や宿題で家庭学習の時間を創出したいわけではないのだが…)。⑦⑧については休日の学習時間である。塾を含めて2時間未満という生徒が多い状況は、絶対的な家庭学習時間不足である。それでも2年生は昨年度より少し改善されてはいるが…。3年生は昨年度、家庭学習時間が確保されていたのだが…今回の結果はとても不安だ。受験生になった途端の燃え尽き症候群が…少し早すぎないか?。日常生活(非認知能力)は学習とのかかわりが深い。⑩学校への肯定感、年度当初に掲げた学校の目標でもあり、「学校を好きになることからの学びのスタートは…」ここ数年の西中教育の基本柱のひとつである…。3年生は端的に学校を楽しみ感じられたいようである。卒業期を迎える3年生には「中学生生活最後」を意識してほしい。受験生にとって充実した中学校生活は合格への一番の近道だ(⑪のやる気も心配だぞ3年生…)。⑫⑬は学校への安心感である。昨年度学級に落ち着きを感じていなかった2年生は、学力向上のためにも落ち着いた生活を意識してほしい(⑬せっかく安心して学校生活を送ることができているのだから…)。90%という3年生の落ち着いた学級生活は、そのまま学力に反映されていると考えられる。1年生はとにかく肯定的に学校生活を楽しんでいる。いつまでも前向きに活動しつつ、中学校生活を充実させてほしい。最後に⑨のあいさつだが…。「西中の自慢は?」と聞くと「あいさつです!」と答えが返ってくるが…。この結果からあいさつについては、まだまだ伸び代があると感じられる。厳しく言えば「君たちが思っているほどできていない」とも言える。キャンペーンで委員会から、「スマイル」とか、「眼を見て」とか、「元気に」とか言われている。そこを実践してほしい。

今後、全学調の分析結果と県学調を含めた学習の方策についてのまとめを配布する。先日記付した個票と見比べつつ、西中生諸君の学力向上に活かしてほしい…。勉強にはできる限り真剣に取り組んでほしい…それはやればやるほど君たちの人生がWell-beingに近づくからだ…。

新人戦/魅せた西中新時代の幕開け(優勝/男テニ 男バレ 準優勝/野球 第3位/女テニ 男卓球)



卓球男子団体3位

男テニ優勝

野球準優勝

女テニ3位

男バレ優勝

NHK『中学生・高校生の生活と意識調査』では、「学校が楽しい」と答えた全国の中学生に対し「その理由」を聞いている。回答は①友達 ②部活 ③授業 ④先生の順となった。今の時代においても、中学生にとって部活動が学校が楽しい大きな理由のひとつになっているのは紛れもない事実である(授業よりも上だ…)。新人戦という事で各会場とも、本当の自分たちのデビュー戦に熱気であふれていた。もちろん西中生も緊張の中に漲るやる気オーラをしっかりと醸し出していた…。

【令和7年度埼玉県新人体育大会入間東部大会成績】

■男子ソフトテニス部/団体戦:優勝(県大)
個人戦:3位〇〇・〇〇組(県大) 他個人戦:惜敗

■男子バレーボール部/優勝(県大)
2回戦11-1三芳 準決勝7-5本郷 決勝1-4福岡

■野球部(東中合同チーム)/準優勝(入間地区大)
個人戦ダブルス:3位〇〇・〇〇組(県大) 他個人戦:惜敗

■卓球部男子/団体戦:第3位(県大)
個人戦:惜敗

■女子ソフトテニス部/団体戦:第3位 個人戦:惜敗
予選リーグ1勝1敗 決勝トーナメント進出ベスト8

■サッカー部 /1回戦惜敗0-2富士見東

■男子バスケットボール部/1回戦惜敗14-66富士見台

■女子バスケットボール部/1回戦惜敗23-59福岡

■卓球部女子 /予選リーグ惜敗 個人戦:惜敗

■陸上部/県大会出場 □1年女子100m/〇〇〇〇:1位 □1年男子100m/〇〇〇〇:1位 □2年男子100m/〇〇〇〇:1位 □2年男子200m/〇〇〇〇:1位 □砲丸投/〇〇〇〇:1位 □女子100mH/〇〇〇〇:1位

【お知らせ】西中スーパークルーズ(ジャージ登校)は10/10までです。10/14からは制服登校となります。社会で通じる身だしなみを意識してください。TP0を考え他者を不快にさせない身なりを!